



## 京都祝園に長距離ミサイルの大規模弾薬庫 枚方から10Km、府立大・同志社大などが隣接

### 全国14か所に弾薬庫増設、予算の半分は京都祝園弾薬庫増設

岸田政権は、アメリカが中国との軍事的な対立の高まりで、武力行使を想定した軍事力増強を進める中、アメリカの要望を先取りするかのようになり、2倍化、「5兆円」の異常な防衛費の拡大を行おうとしています。

2024年度予算の中で、敵基地攻撃能力に対応する長距離ミサイル・巡航ミサイルの弾薬庫建設を全国14か所で行うため222億円の予算が盛り込まれています。

特にその中で京都の祝園自衛隊分屯地にある弾薬庫を10棟から18棟に大幅拡張を行うため102億円と全体の半分の予算が計上されています。

### 枚方から10km、府立大、同志社大隣接地で、住民説明会もなく、建設ありき？

祝園弾薬庫は枚方から約10km、氷室小からは6km足らず、京都府立大や同志社大が隣接する地域です。弾薬庫の火災などの場合、自衛隊の規定では2分以内に1km以上退避とされていますが、文教施設の隣接する地域では不可能なことは明白。

さらに、将来米中対立が、軍事的な衝突に発展する現実性が高まっているとされる現在、本州のミサイル弾薬の一大拠点が攻撃対象とされる可能性は極めて高くなります。

特に重大なのは、これほど生活への影響が大きいにもかかわらず、住民への説明も一切なく、建設予算が突然決定されていることです。

### 戦後の住民による大規模な運動で、自衛隊と重要な確認書で厳格な制限

戦時中から旧陸軍の弾薬庫が置かれ「東洋一の弾薬庫」と言われ、終戦後も米軍に接收され、核貯蔵施設ともされていました。返還後は自衛隊の分屯地として弾薬庫が置かれましたが、その際住民の大規模な反対運動が広がり、自衛隊と地元自治体との間で、核兵器の貯蔵をしないこと、弾薬庫の拡張をしないこと、弾薬量の増加に際しては自治体と事前協議することなど23項目にわたる詳細な確認書を交わしていました。

さらに重要なのは、秋田・山口での陸上のイージスアショア計画では河野大臣が住民説明に赴き、大分、鹿児島の大規模弾薬庫でも住民説明会が開催されているのに、精華町住民には説明会の方針さえ防衛省は明言していません。

確認書も守ろうとせず、緊急事態では住民を巻き込む重大な施設にもかかわらず説明会さえ持とうとしないのは、住民は黙って受け入れればよいとする姿勢の表れです。

### 岸田首相で国会無視が定着、いつの間にか武力行使体制に

#### 敵基地攻撃、米軍・自衛隊の一体化、武器輸出可能

日本の広範な国民が反対し、国会を包囲するような大規模な運動にもかかわらず2015年に安倍首相によって、憲法に反すると政府も認めていた、「集団的自衛権」の安保法制が強引に成立させられました。

その後、米中対立、香港、台湾への中国の圧力、ロシアのウクライナ侵攻などで、ロシア・中国の軍事的脅威が政治やマスコミで大々的に取り上げられる中で、安保法制の問題も取り上げることが急激に減少しています。

全教（全日本教職員組合）の枚方教職員組合のニュースです 枚方教組に加入して学校や働き方を変えていきましょう

この間、岸田首相は、国会の決議抜きで武器輸出などを可能にしたり、アメリカとの軍事一体化の公約を日米首脳会談で宣言するなど、平和憲法が全くなくなってしまったかのような政治を進めています。

とりわけ平和憲法にかかわる重大な国の方針を国会にも図ることなく、政府の判断だけで進める国会無視、憲法原則の無視が当たり前のように繰り返されています。

ウクライナ、ガザからも、いったん武力衝突になれば、一般市民を巻き込んだ極めて悲惨な事態に突入し、和平の糸口を見つけることすら困難になることが明らかです。

本当に今の世界の変化の中で、紛争を解決し、平和を構築するために何が 필요한のか、教育現場の我々をはじめ国民一人一人が立ち止まり、論議を尽くすことが何より重要です。

## 枚方市施設管理課 組合の対市交渉で長年取り上げてきた 職員直営作業によるグラウンド改修の取り組み

学校施設の整備や回収に取り組む都市整備部 施設管理課では、施設管理課の職員による直営作業で、学校のグラウンドの水はけ、ぬかるみの改良のために回収に取り組んでいることが、枚方市のホームページで紹介されています。

HPでは、令和4年から、手押し耕運機を使って、グラウンドの整地や土入れの取り組みの様子を紹介され、令和5年からは、建設機械をレンタルすることでさらに大きな規模でのグラウンド改良に取り組む様子で紹介されています。

グラウンドの水はけ問題は、組合としても長年取り上げてきた問題で、雨の後水たまりが消えずに運動会などの行事が困難になる、避難所になった場合に無カルム運動場では問題と、改善を繰り返し訴えてきました。

グラウンドの排水は、表面排水が7割、浸透排水が3割といわれており、経年劣化で地表面のデコボコや溝がひどくなり、各学校でも何とかしてほしいという意見が出ていました。

今回施設管理課では、ふるさと納税を活用した財源によって、職員の工夫で取り組みを進めており、重要な前進といえます。



## 昨年全国で、運動場の放置くぎで児童が大けが

### 枚方でも業者の金属探知機などで、全校の点検、撤去作業を

昨年度、東京と愛知県で、グラウンドの放置くぎによって児童がそれぞれ十数針を縫う大けがをおい、東京や愛知県では、グラウンドの放置くぎの点検が行われ、杉並区では1万5千個以上の金属物が回収されています。

枚方でも、運動会のポイントなどでくぎが使用され、長年の蓄積や、打ち込んだまま忘れられているものも少なくありません。

東京などでも、杉並区など業者の金属探知機で500本以上発見された学校もある一方、足立区では職員の目視だけで点検した結果、102校中で2校のみ23本にとどまっています。

文部科学省は、毎年起きる学校事故を重く見た消費者庁が昨年調査報告と文科省への意見書を出したことを受けて、今年3月に「学校における安全点検要領」を公表しています。その中でも、学校で判別が難しいものは、専門家を活用した点検に取り組むことが挙げられています。

放置くぎは地中に埋まっているため、目視のみでの発見は不可能です。枚方市、市教委として、積極的に専門業者、金属探知機などでの点検、撤去に取り組むべきです。

## 仕方ないのが当たり前・・・ではありません 給食の負担軽減、他の市でもこれだけやっている

### 枚方教組も繰り返し要求

小学校給食が2学期から無償になります、中学校給食も令和10年から食缶による全員喫食を実施する計画が進められています。

一方で、多忙で過密な先生たちの業務が続く学校現場では、給食にかかわる対応が大きな負担にもなっており、子ども同士のトラブル、運搬時・配膳時にひっくり返す、こぼす、アレルギー対応など、クラス経営にも大きく影響し、もしもの時には先生の責任さえ問われかねないストレスにもなっています。

### 給食時の負担 仕方ないのが当たり前・・・ではありません

体育や水泳の後でも、子どもたちを並ばせて配膳室まで取りに行き運搬、教室で配膳。大変でも、これが当たり前、負担だけれど仕方ない・・・と思いつくのは違います。

文部科学省の働き方改革の通知でも、給食は「教師・学校業務でも負担軽減がはかるべき」とされています。

実際に、他府県他市においても、様々な取り組みが行われている点から、枚方においても積極的に検討、実施すべきであり、枚方教組もこの間の対市交渉で何度も要求してきました。

### 大阪でも、全国でも取り組まれる、運搬エレベーター、教室前運搬

寝屋川市、交野市、四條畷市などでは、給食運搬用のエレベーターが設置され、各階まで配膳員が運んだり、教室まで運ぶことも行われています。

京田辺市でも給食の業務委託に、教室前か学校指定場所までの運搬が定められています。

長岡京市、豊中市でも教室前まで配膳員が運搬しています。

東京23区では同様の対応が多く、横浜市でもすでに多くで実施しているエレベーター設置、教室前運搬の市内全校実施に向けて、取り組みを進めています。

給食、昼休みの時間確保、運搬の負担やトラブルの大幅な軽減も期待される点から、もっと声をあげていくべき取り組みです。

北河内サマーフェスタ

## 「居心地の良い学級づくり」～今日も明日も来なくなる学校に～

8月24日(土) 13:30~16:00 参加費無料 どなたでも参加できます、

枚方市総合文化芸術センター別館(旧メセナひらかた)2階多目的室

### 講師 甲斐 真知子さん

(元・小学校教諭 現・NPO法人おおさか教育相談研究所 副理事長)

かつて小学校で勤めておられたこと、荒れたクラスでも子どもたちの願いや思いを大切に、子どもたちの自主性を引き出すクラスづくりに取り組まれ、退職後も不登校の相談・支援に長年取り組んでこられました。講演会には多くの先生、保護者が参加され、参加者に教育への希望や、子どもたちの力を信じて取り組む自信を与えてもらえると、大きな反響があります。

クラスがうまくいかない、こんな取り組みで本当にいいのか、保護者とこじれて悩んでいる、授業やクラスづくりに必ず、希望や勇気をもらえる講演会です。

(保育あり:事前に連絡をください)

## ウクライナ・ガザ、変えられていく平和憲法

戦争と平和・激変する世界の中で学校・平和教育に何ができるのか

## 戦争と平和、平和教育を考える交流会

7月30日(火) 18:00枚方教組組合事務所

ロシアのウクライナ侵攻は、2年以上たっても停戦や終息の見通しさえ見られず、犠牲者が増え続け、洗浄でドローンやAI兵器が次々投入され、兵器産業の一大マーケットにさえなっています。

ハマスの攻撃をきっかけに始まったイスラエルのガザ地区への攻撃は、ハマスにとどまらず、住民全体を大きな犠牲に巻き込み、圧倒的な軍事力で「天井のない監獄」をうきぼりにさせ、いまだに子どもや老人も食糧難、医療が受けられずに命を次々失うような現状が続いています。

戦争と平和の問題がかつてなく激変する現代の中で、学校や教育の中で、何ができるのか、どんなことを取り組んでいくべきなのか。

若い先生が増える中で、平和教育の困難が語られ、現場でも戸惑いが広がり始めています。

こんな中でも様々な機会を生かして、戦争や平和の問題に取り組む先生たちもおられます。

現場の先生たちが集まり、実践や経験だけでなく、それぞれの先生たちの先頭と平和、平和教育への思いや疑問を出し合い、これからの方向を一緒に考えあいましょう。

参加費無料 どなたでも参加できます。

会場 枚方市西禁野1-1-3 枚方教組組合事務所 2階会議室

## 大教済 Summer Party

7月24日(水) 18:00

場所 リザ・ダイニング

枚方市岡本町4-25 枚方市駅北口すぐ

コース料理+フリードリンク

参加費 2000円(大教済加入者)

加入者以外5500円

先着25名 申し込みは

右下のQRコードから

大教済から、1学期頑張った先生たちに贈るキャンペーン。  
1学期大変な中でやっとゆっくりできる時間。みんなでしゃべって、食べて、楽しみましょう。

